

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比106%で推移しており、引き続き好調である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・景気はそれほど良いとは思わないが、子どものことに対してはやはり親も何とかしてあげたいという気持ちがあるのか、この春の売行きは一昨年同様である。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・高級品が動いてきており、前年同月と比べると低価格商品の売上は落ちている。また、異常気象の影響なのか暖かい日に集中して来店が多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・4月の今まででなかった異常な寒気が観桜期間を長くしたため、思ったより多くの人出が続き、助かっている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・エコポイント制度の継続で、関連商品の動きは引き続き良い。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・久しぶりに全館リニューアルを行ったところ、オープニングセールを含めて、新しくなった店舗への来客数が非常に多くなっている。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・2、3か月前に比べて、販売量の動きが活発になってきて、ファッションの主力である婦人服の売上が大分回復している。特にボリューム商品の売上が向上してきており、世間一般の女性の商品購入に対する意欲が高くなった傾向が表れている。	
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・依然として回復はしていないが、以前よりも下げ幅は縮まっている。	
	スーパー（統括）	販売量の動き	・既存店ベースで売上高が前年同期比100%を超え、徐々に回復基調にある。衣料品は一部の機能性素材のものを除き、相変わらず90%台前半だが、食品は天候不順で高騰した野菜を除いても前年同期比103%を超え、復調の兆しがみえる。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・非常に寒い日が多く、客が春らしい気候で外出する機会が損なわれた感があり、足を引っ張られてしまったが、全体的には上がっている。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・花見等の行楽と天気の様子によって客の買上点数が上がったことでやや販売が上がっている。	
	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・ダイレクトメールを使って春物ファッションやランジェリー等の催事販売をしたためか、超得意客の来店と購買があった。そのため今月の来客数は一般客を含めて約15%低下していたにもかかわらず、客単価が上がり、売上は15%伸びている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・観光シーズンになって県外の客が多くなり、来客数が伸びたことと、新年度になり各種会合が多くなったことで、客数が伸びている。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・4月の中ごろは多少上向いたものの、後半は静かになってきた。このまま短期的な動きで終わるのなら、花見シーズンに寒かった影響で花見客の流れがあったからという理由かと思うが、まだちょっとよく分からない。	
	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・観光シーズンが始まり、主にアジアからの訪日外国人旅行者が大勢訪れている。今のところは先の予約状況も好調である。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新築物件の売行きは回復傾向にあり、消費傾向も少しずつではあるが高まりつつある。また、無駄な出費は抑えながらも必要なものの購入についてはお金をかける客が増えてきている。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新しい展示物が完成したことから、来客数が多くなってきている。	
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・前年度決算で在庫車両は減少したにもかかわらず、小型乗用車は9%増となった。つまり、小型乗用車が売れなかったということであり、こんなことは初めてである。		
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	単価の動き	・来客数が前月、前々月と比べても順調に約8%くらい増えている。前月までは単価が上がらなかったが、今月になって3~4%上がってきている。また、各テナントの来客数、売上共に増えており、販売量に関しても上向きに転じている。		

	その他サービス [フィットネス クラブ](マ ネージャー)	それ以外	・近隣のショッピングセンターの売上が上がってきているのに伴って、当店への来客数も多くなっている。
	設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・年度末、年度始めで公共案件が多く、店舗の出店も 続いている。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・来客数が確実に増えている。
変わらない	商店街(代表 者)	お客様の様子	・単価の安い品物を買う際でも、客が2度も3度も店 に来てから買う、という今までになかった光景が見ら れている。
	一般小売店[家 電](経営者)	お客様の様子	・エコポイント制度絡みの宣伝効果のためか、3月は テレビ関係の動きが良かったが、その後の動きは減少 している。アナログ放送終了まで1年余りだが、ギリ ギリまで我慢する様子もうかがえ、客は相変わらず余 計な出費を控えたいようである。
	百貨店(総務担 当)	競争相手の様子	・近くの大型スーパーが近々閉店するため、ギフト品 の需要が上がり、菓子やその他の売上が前年比140% となっているが、閉店は市場の状況が悪いためなので 喜んでももられない。
	百貨店(販売促 進担当)	販売量の動き	・婦人服、紳士服は引き続き消費者の低価格志向が根 強く、厳しい状況にある。また、宝飾関連等の高額品 は回復の兆しが見えてこない。堅調なのは食料品のみ である。
	スーパー(経営 者)	単価の動き	・野菜の高騰にもかかわらず、低価格競争が続いてい る。
	スーパー(店 長)	来客数の動き	・天候不順による野菜の高騰により、農産物を廉価で 売出すと客が殺到する状況で、特にキャベツなどは料 理の基本となるものなので人気が高い。青果での利益 は出ないが全体としては活気が出ている。
	スーパー(総務 担当)	販売量の動き	・4月は改装に伴うセールを実施し、衣料、住まいの 商品、食品とすべてにおいて徐々に前年をクリアでき た。しかしセールが終わった今、さほど良い状況は見 受けられない。何かを仕掛ければそれなりの数字は出 てくるという状況である。
	コンビニ(経営 者)	単価の動き	・客数は戻って来てきたが、単価が低くなっている。 しかし、限定品は驚くほど良く動く。
	コンビニ(店 長)	単価の動き	・来客数がある程度増えてきて景気が若干上向きに なっているように感じるが、客単価は逆に落ち込んで いる状態なので、景気としては横ばいである。
	衣料品専門店 (統括)	お客様の様子	・景気の悪化からなかなか先が見えず、今年の祭りに 参加できるか分からないような経営をしている客もい る。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・今までは2~3回で決まった商談も、かなりしつこ く追い回し、頑張って値引きしないと1~2万円の差 で負けてしまう。展示会をやっても客が来る日と来な い日の差があり、競争相手もおそらく同じであると思 われ、今後も景気は良くならない。
	乗用車販売店 (販売担当)	単価の動き	・ここ2、3か月、100万円前後の単価の安い中古車 については、景気が悪いながらも、そこそこ台数が出 ているが、輸入車の新車や高額な中古車となると全く といっていいほど動きが鈍い。
	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・客の購買意欲の高まりもなく、販売量についても全 く読めない状況である。
	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・天候不順が一番の要因となって、園芸用品や虫対策 商材などが大きく前年を割り込む状況で、3月から継 続的にマイナスとなっている。
	住関連専門店 (開発業務責任 者)	販売量の動き	・天候不順により外回りの買上点数の落ち込みが顕著 に出ている。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・昨年夏からずっと売上の前年割れが続いてきたが、 今月は少し下げ止まった感がある。ただ、景気回復に よって景気が上向いたというよりは、消費者が際限なく 節約し続けることが限界に達したせいだと感じる。
観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前月と変化が無い。	
都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・中小地方都市、自動車産業の町の景気はなかなか上 向かない。歓楽街のネオンも日々消えていっている。	

都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・前年度比で売上は若干伸びているが、これは一周忌などの仏事による会食等が重なったことによって、売上が上向いたためである。一般客に関しては不景気な状態が続いている。	
旅行代理店(副 支店長)	販売量の動き	・例年と比較すると、ゴールデンウィークの客の動きが鈍く、間際の問い合わせや受注も少ない。さらに海外旅行におけるアイスランドの火山噴火の影響、タイの政情不安も足を引っ張っている感がある。アジア最大のイベントである上海万博に絡む旅行受注も今一步である。	
旅行代理店(副 支店長)	販売量の動き	・日々の団体旅行の受注状況があまり芳しくなく、客は夏場に向けて旅行を考えているということだが、4月中の動きはそれほど無い。	
通信会社(経営 者)	販売量の動き	・とにかく物が売れない。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・中小の製造業で仕事量が増えているとのことであり、客の表情も明るいですが、まだ賃金に跳ね返ってくるまでには至っていない様子である。	
通信会社(局 長)	お客様の様子	・加入理由、解約共に景気動向の変化による理由が見当たらず、景気の悪化を指し示すものではないが、消費はより堅実になっている。	
ゴルフ場(従業 員)	来客数の動き	・来場者は昨年と同じである。	
ゴルフ場(支配 人)	それ以外	・4月は異常とも言える気象の変化で雪によるクローズや予約のキャンセルが多発している。また、寒さのために予約が伸び悩んでいる。	
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価ともそれほど変化が見られない。	
その他レジャー 施設[アミュー ズメント](職 員)	販売量の動き	・売上自体は相変わらず低水準だが、ゴールデンウィークを控えた月半ばあたりから、客単価が少し上がっており、1万円札を使う客が増えている。	
美容室(経営 者)	それ以外	・最近では美容院改装の融資相談の件数が非常に少なくなっている。昨年は10件ほど相談があったが、今年は支店の開設など店を増やす相談はほとんどない。	
その他サービス [自動車整備 業](経営者)	お客様の様子	・客の倒産、廃業が相変わらず続いている。	
その他サービス [清掃](所 長)	それ以外	・送別会や歓迎迎会が行われたが、以前なら二次会へ多くの人が行っていたが今は少なくなり、スナック等の客数は減少している。	
設計事務所(所 長)	競争相手の様子	・相変わらず悪いまま経過している。同業者も同じように話しており、建設関連業種は総じて同じような環境である。	
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・相変わらず不動産の引き合いがほとんどなく、賃貸アパート、マンション等の引き合いも減っている。逆に、入居者からの家賃の値下げ交渉ばかりが多く、非常に困っている。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・毎月、計画数値を維持するのに精一杯の状況が続いており、引き合い件数は低迷が続いている。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・春というのに連日、冬の寒さが続き、年配の人は外出が苦になるせいか、来客数がいたって少なく、春物の売行きが悪い。
	スーパー(経営 企画担当)	来客数の動き	・4月は例年に比べ降雨や降雪が多く、寒暖の差も大きかったので客足が落ちた結果、1月と比べて売上前年比が1%ほど低下している。
	衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・婦人衣料は天候に左右される要素がものすごく大きい。4月は冬と夏が交互に入れ替わるような寒暖の激しい月であったが、暑いくらいの日は比較的客の動きが良く、反応も良かった。客が今まで我慢していた分、天気が良くなって暖かさが戻ってくれば動き出すという様子がかがえた。寒い日の買い控えとの差があまりにもありすぎる。
	家電量販店(店 長)	販売量の動き	・エコポイント制度対象のテレビで、客が制度の終了を3月と勘違いしたためか駆け込み需要が起きたが、一転して4月は不調となった。前年が良かったため、前年比では大きく割り込んでいる。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・客からの話は出てきているようだが、販売まで至らないので、依然厳しい状況である。

		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が日ごとに減少している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夜の来店客がこの時期にしては少なく、前年同期比1割減となっており、天候不順が最大の原因のように思われる。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・周辺地域で1週間開催されるオートバイレースの世界大会が、アイスランドの火山噴火のため、出場者が日本に来られず延期になった。この分の宿泊およびレストラン利用が大きくマイナスとなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・歓迎会は例年どおりにあったが、宿泊は単価が安いほうから埋まってくる状況で、一向に増えていない。また、当地は新幹線等での通勤圏内に位置しているためか、宿泊関係が伸び悩んでいる状況にある。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・前年同月比4%の減少であるが、下げ止まりの感もある。
		ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・今年は春になっても暖かくならずにいつまでも寒いため、春物の動きが悪い。
		ゴルフ場（業務担当）	販売量の動き	・2～4月は悪天候が続いているため、売上が伸びず、前年割れが続いている状況である。
		設計事務所（所長）	それ以外	・当地域随一の繁華街にある大通りから、大手ファストフード外食店の撤退が相次いだ。さらに一昨年からの計画の建築後20年を経過するアーケードの改修についても公的な補助金の支出は困難との回答があった。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・価格の下落が続いており、別荘を手放す際に価格はいくらでもよいとの申出が増加している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・売り物の土地がないにもかかわらず、地価が下落し続けている。客には価格がまだ下がるのではないかと、との思いがあり底値感が感じられないようである。物件も客も少なく全体的に縮小傾向である。
	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・4月は入学シーズンであり、小中学校の入学式までは学生関係はまあまあの状態で過ぎた。しかし、その後の販売量の動きはなかなか鈍い。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今年1月末に当店から車で2分の場所に競合店ができたために来客数が減ってしまった。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・大きなファストフード店も閉鎖するなど、店の閉店が多くなっており、どんどん衰退している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・土日の商店街への来客数が極端に少なくなってきたおり、当店だけでイベントをしても誘客につながっていない。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売品目の電子化や新規営業先の開拓、顧客見直し等、営業体制の強化は日々行っているが、販売量が一向に伸びないどころか月々落ち込んでいる。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・月初に実施したイベント効果により、ファミリー層、ジュニア層は前年を上回る来客数となっている。しかしながら、今月は季節外れの積雪があったり、低温の日が続いた事も影響し、ヤング、アダルト層の来客数は前年を下回っている。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・昨年と比較して、受注量が約2.2倍となっており、受注が上積み方向で、輸出主体にメーカーからの注文が多くなっている。
	やや良くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・米国の大手金融機関の破たん前の状況までは戻っていないが、一時に比べて大分仕事量が増えてきている。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・親会社が経済発展の著しいブラジル、ロシア、インド等、特に中国の需要を取り込んできており、産業機械、特に大型のコンプレッサや工作機械等に引き合いが多くなってきている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の連休前納期の仕事が集中し、一部の工程では休日出勤にて対応している。また、建設機械、産業機械の分野において中国向けの仕事が増加傾向にあり、対応に追われている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・単発的だが仕事が入ってきたのでやっと一息つけるが、まだまだ先が見えない状況である。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この2～4月に受注量、販売量と取引先等が徐々に良くなっている。	

	金融業（調査担当）	受注量や販売量の動き	・製造業では海外需要の増加から受注は持ち直しの動きが続いている。分野や用途によっては回復の動きに隔たりがあるほか、需要の見込める分野でも競合が激しくなっており、販売価格の低下圧力が働いている。一方、非製造業では、雇用や所得環境の低迷から消費者の節約志向が続いており、個人消費等、県内需要は弱い動きが続いている。
	金融業（役員）	取引先の様子	・自動車部品を製造している取引先の受注は着実に回復してきている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業、特に自動車関連下請企業は一時の最悪期を脱し、受注増加傾向となっている。ロボット関連などの大手企業においても受注量が最盛期の8割程度に戻っているところもある。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・既存システムの改善や新規投資の引き合いが増え、受注量が増えつつある。まだまだ金額は抑えられているが、収益改善の兆しが出てきている。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印刷の受注量が依然として少なく、前年から3割減くらいの状況である。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月で決算をしたところ、営業的にはかなりの赤字であったが、保有株式の売却をして、見かけ上は黒字決算にした。こんな処理の仕方は初めてである。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新年度が始まったが何の変化もなく、大変厳しい。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は増えていないし、どちらかという減っている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新聞等によると、景気が大分上向きつつあるとのことであるが、受注量がかえって落ち込むようなところと、増えていくところとがあって相殺されている状況である。ずっと低空飛行のまま変わらない。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・規模が小さいが、フロン回収機の受注が絶え間なくある。輸出プラントの中に入れる話もあり、対応機の開発を考えている。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・4月に行われた卸、小売業者を対象とした展示会では在庫調整も終了し、新作の提案商品をまとめて購入した客もいた反面、電話で来場をお願いしても買えないから行かないという客も依然多かった。二極化が極端になってはいるが、平均するとまだ売上の向上にはほど遠い。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・取引先や納品先の要望を受け入れ、幅広く細かく、多種多様に物量を稼いでいるので、現在は消費財向けの出荷量は前年を上回っている。しかしながら天候不順もあり、青果物の出来が悪く、保冷車等の稼働も落ち込んでいるので、その分は厳しい。燃料も高騰しているため、しばらくは厳しい状況が続く。
	広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・広告の受注件数は低迷したままである。価格競争も、赤字で受注するくらいでないかと戦えず、消耗戦後半突入である。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・例年に比べ寒い日が続くため、靴専門店ではサンダルが出始める時期だが、全く反応がなく、陳列をちゅうちょしている。スーパーでは野菜の高騰で、買い控えもあるのではと話している。チラシ出稿量は94%となっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・下請企業、建設関連、食品の業況として、下振れ傾向がやや落ち着いている程度であり、依然として受注、販売状況は厳しい。
	社会保険労務士	取引先の様子	・エコポイント制度等、政策がらみのところに関わっている事業所は多少良いが、それ以外の事業所は相変わらず低空飛行である。
	やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注価格や販売価格の動き
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・相変わらず、当社の主要取引先のシステム受注が伸びていない。

	金融業（総務担当）	取引先の様子	・新規受注が取れても、契約が更新にならなかった分をカバーするまでには至らず、売上高が減少している、と取引先が話している。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・純利益につながっていない様子が見受けられる。	
	不動産業（営業担当）	競争相手の様子	・ホテルと賃貸業に関わっているが、以前はホテルでは平均的な稼働があったが、競合他社を含めて非常にばらつきが出てきている。賃貸業についてはやはりなかなか成約に結び付かない。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・地元では大祭を控えて一部の業種では活況であるが、関係商品を発売したものの、売上に結び付く反響すら全く無い。さらに取引先からの受注量も減少する一方である。	
	建設業（総務担当）	それ以外	・受注金額は7か月経過で前年比102.4%と何とか確保出来た。しかし受注が相変わらず同札のクジ引きのため、全体の件数の約3割で現場状況を判断しないまま受注になったり、実際受注してから予算を作ると大幅な金額持ち出しになったりすることがあり、決算への影響が心配である。	
	通信業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規顧客及び新規受注がほとんどない。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車部品関係や電子電気部品の組立では募集等が見られたが、販売サービスでは、衣料品は停滞ぎみである。介護関係では福祉士、サービスでは美容等のスタッフ募集が目立った。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人の引き合いは増加しているが、希望者が現れない状況で、現実とかけ離れた奇妙な現象である。これは雇用のミスマッチではなく、働く意識の喪失である。今年の新卒者で未就職の全国10万人の受け皿問題を解決しなければ大未就業群が漂流することになり、社会不安の要因となる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・派遣求人の増加が見られるが、正社員等の求人では依然変化が見られない。
職業安定所（職員）	求人数の動き	・当所管内の3月の新規求人が前月比で34.7%、また有効求人数も同14.4%増加していることから、景気はやや良くなっている。		
変わらない	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・求人の状況に変化は無いが、派遣から請負へシフトしている感じである。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・一部の製造業の仕事量は増えているが、それに伴う求人はほとんどない。医療福祉やサービス業、飲食業を中心に求人広告件数は3月より若干増えている。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・急速な景気悪化状態にあった前年同月の月間有効求職者数と比較して、3月はわずか1.2%の減少であった。窓口における職業相談数も、求人情報を求めて求人自己検索パソコンに向かう求職者の数も一向に減る傾向にない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月の新規求人数は、前月比で20%増加となったが、前年同月比では同水準となっている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業では加工等技術が必要な求人が増え始めてきているが、一般的な組立、検査、こん包といった求人は少ない。コンピュータシステム開発の求人は最低の状況が続いている。	
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・3月末まで学生の就職活動が続き、学校全体では95%の内定状況となったことを考えると、欠員補充等でも新卒者を採用するという意識を持った企業が昨年度より多い。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・各企業の仕事は動いているが、仕事の量が少なく、当社への依頼はほとんどない。	
悪くなっている	-	-	-	